

お願い

母子健康手帳のカバーに
入れて、保管してください



小児救急 ハンドブック

新 潟 市
監修：新潟市医師会
新潟市小児科医会

一 お子さんの健康と、それを支える体制を守るために 一

新潟市の小児救急医療体制は平成8年から現在まで、ほぼ24時間、365日をカバーしています。

初期救急医療^{注1}は、新潟市急患診療センターで対応し、その後方支援として市内の病院が輪番で対応する二次救急医療体制^{注2}が確保されています。

現在、全国的に医師不足が問題となっており、特に小児科医が不足しています。新潟市においても同様な傾向にあることから、新潟市急患診療センターに出務する医師の確保や二次輪番病院の確保が困難な状況になっています。このような状況の中、このハンドブックをご活用いただき、お子さんの病気やけがの対応に役立てていただくことが、お子さんの健康と、それを支える体制を守るために非常に重要となります。

病気のときすぐに医療機関を受診するのではなく、ご家庭で症状に応じた対応をするほうが、お子さんにとっては負担が少なく、より適切な場合もあります。

お子さんの症状に不安を感じ、受診について悩まれる場合は、救急医療電話相談^{注3}などもご活用ください。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

注1・2 29ページの「新潟市の救急医療体制」参照

注3 32ページの「救急医療電話相談」参照